



# る う て る



2015年  
**5**月  
No.809

■発行所 ■  
日本福音ルーテル教会事務局広域部  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 1-1  
電話 03-3260-8631

■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>  
■E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)  
■発行人 ■ 安井宣生 koho06@jelc.or.jp  
■印刷 ■ 精文堂印刷株式会社  
■定価 ■ 1部 40円 (郵税を含む)  
■振替口座 ■ 00190-7-71734

## 説教「違っけれど同じ」

日本福音ルーテル雪ヶ谷教会牧師 田島靖則

「体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。」  
(コリントの信徒への手紙一12章14節)



早いもので、牧師になつて20年が過ぎました。思い起こせば「阪神淡路大震災」や「オウム地下鉄サリン事件」など、日本社会の転換点にあたる年に、私は牧師としての歩みを始めたわけですが、任地は大学でしたが、現任地は附属幼稚園をもつ教会です。右も左も分からない状態からスタートした幼稚園の園長職も、8年経つてようやく板についてきたのではないかと思っています。

また不思議なことに昨年度から、私が卒業した二つの大学より兼任講師の依頼を受け、久しぶりに大学の教壇でキリスト教倫理を講じる機会をいただいています。生殖補助医療や人工妊娠中絶、安楽死・尊厳死の問題をあらためて論じる必要に迫られて、この20年間の経験を通して、私の視点も変化してきたことを実感しています。この8年間、幼稚園で出会った様々な園児たちと保護者たちとのかわりながら、私を成長させてくれてい

ます。世界で最初の幼稚園を創立したのは、ドイツ人フリードリッヒ・フレーベルです。彼の著書『人間の教育』のなかで、こう述べています。

初級の幼稚園を創立したのは、ドイツ人フリードリッヒ・フレーベルです。彼の著書『人間の教育』のなかで、こう述べています。

「遊戯することなし遊戯は、幼児の発達つまりこの時期の人間の発達の最高の段階である。といふのは、遊戯とは…内なるものの自由な表現、すなわち内なるものそのもの必要と要求に基づくところの、内なるものの表現にほかならない…あらゆる善の源泉は、遊戯のなかにあるし、また遊戯から生じてくる。力いっばいに、また自発的に、黙々と、忍耐がよく、身体が疲れきるまで根気よく遊ぶ子どもは、また必ずや遅い、寡黙な、忍耐つよい、他人の幸福と自分の幸福のために、献身的に尽くすような人間になるであろう…母親よ、子どもの遊戯をはぐくみ、育てなさい。父親よ、それを庇い、護りなさい。」

私の園では毎年、卒園する年長さんとお別れ焼きそばパーティーを行つています。年中・年少児が野菜を刻み、先生たちが大きなフライパン

で作つてくれた山盛りの焼きそばを、皆で食べるのです。

ある年のパーティーで、年少さんのRくんとKちゃんが、同じテーブルに着いて2人で泣いています。Rくんはダウン症児。ちょうどそのそばを通りかかった私は、頭の中で勝手に想像を膨らませ、Rくんは泣いているKちゃんに共感し、一緒に泣いているんだらうと考えました。実際、Kちゃんはちよつとしたことで泣いてしまうことが多い園児でした。



まさしく「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」(ローマ12・15)という聖書の言葉を、Rくんは自然に実践しているのだらうと。

後になって、クラス担任の先生から事のいきさつを聞きました。Rくんはいはずら好きで、テーブルに置いてあったKちゃんのランチオンマットをわざとテーブルから落としたというのです。

多様性の担保される社会は、豊かな社会です。教会はぜひ、多様性の擁護者であつて欲しいと思つています。

「体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。」(コリント一12・14)

多様性の担保される社会は、豊かな社会です。教会はぜひ、多様性の擁護者であつて欲しいと思つています。

泣いて訴えるKちゃんに気づいた先生がRくんを注意したので、2人そつて泣いていたというわけです。もちろんRくんに特別な悪気があつたわけではなく、ちよつとしたいたずらのつもりだつたことは明らかです。しかしこの一件を通して、KちゃんはRくんに悪気がなかつたことを学び、Rくんは自分のいたずらが他人を傷つけるのだと思ひます。そして私は、ダウン症児はいつも無垢で善意に満ちているという、ステレオタイプの障がい観の間違ひに気づかされました。園児たちも、園長先生も、こつして成長していきます。

**ルーテル・医療と宗教の会**  
**公開講演会**  
「今知っておきたい子どもの頭痛  
～片頭痛、そして心からむ頭痛～」

講師 藤田光江先生  
筑波学園病院小児科/東京クリニック  
小児・思春期頭痛外来担当医。著書『子どもの頭痛 頭が痛いつて本当だよ』『お母さんの悩み相談室』など

2015年6月14日(日)  
14時～16時  
会場 日本福音ルーテルむさしの教会

**入場無料**

主催 ルーテル・医療と宗教の会  
共催 日本福音ルーテルむさしの教会/東教区社会部

宗教改革500年に向けて  
ルターの意味を  
改めて考える(37)

ルター研究所所長 鈴木 浩

ルターが、罪が赦された人は、「義人にして同時に罪人だと言つたのは、よく知られている。『ローマ書講義』の中では、人間は「健康にして同時に病人」だとも言つている。

「キリスト者の自由」の冒頭には、キリスト者は「すべての上立つ自由な主人であつて、だれにも服さない」と同時に「すべてのものに仕える僕であつて、だれにも服する」とある。

互いに真つ正面から矛盾する概念を「同時に」という言葉で結び付けるのが、ルターのもつた特徴である。ルターは、同時にこうも言った。「神は十字架において啓示されていると同時に隠されている」。啓示されていないはずだし、「隠されている」というのなら、啓示されていないはずなのに、これはいったいどうしたのか。この謎めいた発言の真意は何なのか。

ルターは、同時にこうも言った。「神は十字架において啓示されていると同時に隠されている」。啓示されていないはずだし、「隠されている」というのなら、啓示されていないはずなのに、これはいったいどうしたのか。この謎めいた発言の真意は何なのか。

ルターは、同時にこうも言った。「神は十字架において啓示されていると同時に隠されている」。啓示されていないはずだし、「隠されている」というのなら、啓示されていないはずなのに、これはいったいどうしたのか。この謎めいた発言の真意は何なのか。

世界の子どもを愛する  
**上野由恵**  
フルーツコンサート

共演 新井健児(宇太)

■5月9日(土) 14:00～ 岡崎教会  
■5月10日(日) 13:30～ 保谷教会  
■5月22日(金) 19:00～ 小鹿教会  
■5月23日(土) 17:00～ 藤が丘教会  
■5月29日(金) 19:00～ 甲府教会  
■6月12日(金) 19:00～ 熊本教会  
■6月13日(土) 14:00～ 鹿児島教会  
■6月14日(日) 14:00～ 長崎教会  
■6月27日(土) 14:00～ 刈谷教会  
■6月28日(日) 17:00～ 松本教会  
■7月5日(日) 14:00～ 神戸東教会

日本福音ルーテル社団 (JELA)  
TEL : 03-3447-1521 E-mail: [jela@jela.or.jp](mailto:jela@jela.or.jp)



議長室から

したが(ヨハネ3・1以下)、聖霊は人の理解をほかに超えた神の働きであることを教えるためです。

きなしには語り得ないことを教えているのが、使徒言行録です。ここに記されていることは、聖霊の働きによつて使徒たちの宣教が力強く前進したことで

私たちの教会、施設、学校、幼稚・保育・子ども園の宣教も同じだと思えます。宣教に誠実に一生懸命に取り組んでも、いつも成果があるわけでは

聖霊の風が吹くことを待つしかないのです。このように宣教の実は聖霊の風を待つしかないのですが、しかし私たちの教会にはこれから確実に吹く風があるように思うのです。それは2年後の

「3・11」を憶える礼拝報告 高垣嘉織

憶え、5年目を歩むために、3月15日に東京教会で「3・11」を憶える礼拝が行なわれました。50名以上の方々とともに思いを共有することが出来ました。礼拝式文では会衆の言葉が交互に交わされ、あの日の出来事を思い起こし、その苦しみの中에서도共におられた主を思い、被災地との連帯を感じていくものでした。未だに続く、放射線被害の恐怖や一向に解決へと進んでいないとは思えない福島第一原子力発電所事故の問題は、被災地ばかりではなく、今を生きている私たちに問いかけています。

私たちは、問われ続けています。その時のこと、今までのこと、これからのこと。その問いにどのように応答するのが正しいのかは分かりません。

# 宗教改革500年という風

総会議長 立山忠浩

5月に入りました。私の暮らす地では新緑の季節を終えつつありますが、教会の暦は今月下旬に聖霊降臨日を迎えることになります。

聖霊を、私たちの肉体的目に見えることができませんので、イエスは様々なものに譬えて語られました。議員であったニコデモには風に譬えて説明されま

を鯉のぼりに譬え、鯉のぼりは強い風が吹くほど勢いよく泳いでいるではないかと記されたことを思い起こします。逆風に漕ぎ進んでいる私たちの教会を鼓舞する内容でした。

を語ることを禁じられたことも見落としてはいけない(使徒16・6)。もちろん宣教することへの怠慢を勧めているのではありませんが、時として宣教に実りがないことも聖霊の働きとしていえるのです。

の働きに応じて量られるものではなく、神様がお決めになることだからです。鯉のぼりで譬えるならば、一生懸命に鯉のぼりを吊るしたとしても、風が吹かないことには泳ぐこととは言いわけですから、

の働きに依りて量られるものではなく、神様がお決めになることだからです。鯉のぼりで譬えるならば、一生懸命に鯉のぼりを吊るしたとしても、風が吹かないことには泳ぐこととは言いわけですから、

「あなた達は2011年3月11日のその時どこにいましたか」という問いが投げかけられ、何度となく、なされてきました。その問いが色々な意味をもつて問い続けられているのではないかと思えます。」という投げかけから、日本基督教団常磐教会の明石義信牧師の説教が始まりました。

東日本大震災より4年を

私たちは、問われ続けています。その時のこと、今までのこと、これからのこと。その問いにどのように応答するのが正しいのかは分かりません。

## インドに行つて考えるようになったこと

森奈生美(むさしの教会)

私は、何を期待してインドワークキャンプへ行ったのか。クリスマスチャンホームに生まれ、幼い頃からルーテルの暖かな環境の中で育つたが何のために人はキリスト教を信じ、教会へ行くのか、自身の感覚としては理解できずにいた。その答えを求めるため、具体的に言えば、いつかするかもしれない「堅信の意味を知りたくて、

申込用紙を手にした。私たちは、CRHP(総合的地域健康プロジェクト)の施設に1週間滞在した。病院を拠点としたCRHPの働きは、医療の提供にとどまらない。衛生管理や幼児教育等、幅広いアプローチを通じ、地域改善に取り組み。CRHPは仕組み作りの役割を担っており、実際に貧困を解決していくのは村の人々だ。

ある日のデイボーションで、仲間の一人がCRHPを「天国のような場所」と言った。私は心から共感した。そこには確かに、神様の働きがあったのだ。挙げればきりが無いほどに、私たちが日々、様々な愛の行為に触れた。貧困の中にありながらも最善の生き方をしようとする人々の姿を目にし、彼らに手を差し伸べ続けるCRHP

の働きを学び、その一員としてワークをした。ここでいう「天国」とは、キリスト教に限らないと思う。世界には様々な宗教や考え方が存在し、それぞれに確かな価値がある。CRHPも、現地の人々にキリスト教を押し付けることとはしない。大切なのは何をどう信じるかではなく、その信心の上に何をどう生きるかだと、気付かされた。それを踏まえて尚考

インドで答えを得ることとはできなかったが、キリスト者としてどう生きるのかだ。

「あなた達は2011年3月11日のその時どこにいましたか」という問いが投げかけられ、何度となく、なされてきました。その問いが色々な意味をもつて問い続けられているのではないかと思えます。」という投げかけから、日本基督教団常磐教会の明石義信牧師の説教が始まりました。

東日本大震災より4年を

私たちは、問われ続けています。その時のこと、今までのこと、これからのこと。その問いにどのように応答するのが正しいのかは分かりません。



「あなた達は2011年3月11日のその時どこにいましたか」という問いが投げかけられ、何度となく、なされてきました。その問いが色々な意味をもつて問い続けられているのではないかと思えます。」という投げかけから、日本基督教団常磐教会の明石義信牧師の説教が始まりました。



# 礼拝式文の改訂



## アンケートO&A

### その①

式文委員 松本義宣

「神があなたをここ(礼拝)に招かれたのは、何より洗礼による救いを与え神の子とするため。そのことをまず伝えることではないか、という提案であることをご理解いただきたいのです。」

「聖餐」序詞の「心を高くあげて」にも、なぜ現行の「心をこめて」を改訂したのかという意見がありました。確かに日本語的には、心は人が主体的に「こめる」ものです。しかしその内在的方向性ではなく、自分の心がそれほど熱く信じている訳でなく、相応しい姿勢ではなくとも、そのありのままを神の出来事である聖餐に向ける、いえ向けさせられる、その神の働き、先行性を、あえてストンと来ない表現で示したいとの提案です。

その働きによって私たちも「心」を存すべしと「心」を上げることができるとす(哀歌3・41やコロサイ3・2参照)。また、設定辞の「十字架の贖いである受難を強調した苦しみを受ける前日から、渡される夜」に戻されました。ルターの設定辞に従ったことと、キリストの十字架が私たちの裏切り(背きの罪)のためということを強調するためです。

「諸国民」になりましたが、「イスラエルは、これが新約聖書から採られた賛歌(カンテイクル)であり、現行聖書から大きく逸脱しないことを前提に変更せず、現代の同名の国ではなく新約聖書では「新しい神の民」のメタファー(隠喩)の用語であることの解説付記を載せる方向で検討中です。

最後に「毎週聖餐」前提の是非もありました。教職減少の現状は十分承知していますし、決して聖餐のない礼拝の排除ではあ

今年の春の全国ティーンズキャンプでは「礼拝」を共に学び分かち合いました。テーマは「おかしな、いつてらっしゃい」。難しいことはさて置き、とにかく礼拝には意味があること、招きから派遣へ、そして再び招かれること、ティーンズが各個教会の礼拝に連なっていくことを目指しました。

参加申込書のアンケートに、自分の教会の「洗礼盤がどこにあり、どんな形か」という設問をしました。詳細報告はこの場の責任ではありませんが、前号の続きで言えば、普段ほとんど目にせず、置いてあってもそれが何か知らないでいる実態が垣間見えませんでした。改訂案が礼拝の始めに洗礼の想起と洗礼への招きを入れたゆえに、未受洗者の排除ではないかという側面も大切ですが、配慮すべきなのは

「諸国民」になりましたが、「イスラエルは、これが新約聖書から採られた賛歌(カンテイクル)であり、現行聖書から大きく逸脱しないことを前提に変更せず、現代の同名の国ではなく新約聖書では「新しい神の民」のメタファー(隠喩)の用語であることの解説付記を載せる方向で検討中です。

それにより、この賛歌は礼拝式本来の構成要素から言えば、絶対に省けない部分ではなく、詩句を独自に変更するより、むしろ省略する方向で考えてよいのではないのでしょうか。位置も「派遣の部」となったのは現行式文からであり、伝統的には「聖餐後」に置かれたのですが、連続して「派遣」になり、従来との変更はそう大きくはありません。

また、「アタナシウス信条の三位一体主日」へのオプション提示は、現行式文の「取扱原則」にもあることの注意喚起ですが、確かに「呪詛の言葉」があり繰り返すことが多いので、典礼に用いるため、専門家によって簡略に整える可能性はあるのではないのでしょうか。

最後に「毎週聖餐」前提の是非もありました。教職減少の現状は十分承知していますし、決して聖餐のない礼拝の排除ではあ

なぜなら、人間は「神の義」を無償でいただくことによつて(恩寵)、義と認められる(義認=救済)からです。人間が努力して信仰することによつて救われるのではないからです。ただ、ひたすら「恵みのみ」です。そして、この体験によつて、ついにルターは宗教改革運動へ

りません。現行式文の「聖餐を伴わない礼拝」の可能性や「取扱原則」を参照していただければと思います。

限られた紙面では十分な説明/回答はできませんが、各地で予定される説明会や、式文委員会への直接のお問い合わせ等で、より良い改訂案となることを願っています。

「95ヶ条は何を問題としているのか。第1条には、「全生涯が悔改めである」と書いてあります。信仰とは、単に生活上の習慣ではなく、まさにその人の全生涯をかけた神との関係だ、ということです。そして全体を通じて贖宥状態を問題にしました。贖宥状態とは、それを買うと天国が約束されるという証書のようなものです。ローマ教皇庁は財政上の必要からもその販売を許可したのです。

しかし、そこをルター

1517年10月31日、ヴィテンベルクの城教会の門の扉に、ルターは「95ヶ条の提題」を掲示しました。これが宗教改革運動の始まりです。贖宥状(免罪符ともいう)の是非をめぐる討論会の呼びかけでした。

ルター本人としては地方都市ヴィテンベルク内のささやかな呼びかけのつもりでしたが、しかしそれは60年ほど前にグーテンベルクによって発明されていた活字印刷術によつて、たった2週間ですべて全ヨーロッパに広がっていきましました。1000年間も続いた(カトリック)教会への挑戦と受け止められたのです。

「95ヶ条は何を問題としているのか。第1条には、「全生涯が悔改めである」と書いてあります。信仰とは、単に生活上の習慣ではなく、まさにその人の全生涯をかけた神との関係だ、ということです。そして全体を通じて贖宥状態を問題にしました。贖宥状態とは、それを買うと天国が約束されるという証書のようなものです。ローマ教皇庁は財政上の必要からもその販売を許可したのです。

しかし、そこをルター

それは小さな一歩でした。しかしやがてこのささやかな一歩が全ヨーロッパを宗教改革の渦の中に巻き込み、結果としてプロテスタント教会を誕生させ、結局は「近代」という時代を準備することとなる世界史上の出来事となったのです。

(つづく)

初めに言があった

LUTHER ルーテル 2017 宗教改革500年

連載 マルティン・ルター、人生の時の時(4) 江口再起

## 第10回 聖書校会セミナー報告

### それでも、主を見上げて牧会の光と闇

デルル・パストラル・センター所長 石居真実

昨年、日本ルーテル神学校のもとに創設されたデルル・パストラル・センター(DPC)主催で、第1回の臨床牧会セミナーが、2月9日から11日まで、三鷹の神学校を会場として開催されました。毎年開かれていくルーテル4教団のための「教職神学セミナー」を拡大したかたちで行われ、他教

派の牧師にも広く呼び掛け、全体で40名を超える参加者を得ることができました。

現代を生きる私たちには様々な困難があり、悲しみや痛み、苦しみがか心を蝕ませてしまっています。教会で、社会で共に生きようとして、その人間関係においてさえ、傷つき、私たち自身の破れを経験します。そうした、牧会の闇ともいえるべき実情にもかかわらず、私たちが養われ、生かされている信仰の歩みを照らす光を確信し、牧者として立つために、癒しと慰めと励まし

は問題にしました。贖宥状を購入するといったような人間の行為(善行)で人が救われるのではない、人が救われるのは神の恵みのみによる(恩寵義認)。こう考えたルターは、それゆえその是非を問う討論会を呼びかけたのです。

それは小さな一歩でした。しかしやがてこのささやかな一歩が全ヨーロッパを宗教改革の渦の中に巻き込み、結果としてプロテスタント教会を誕生させ、結局は「近代」という時代を準備することとなる世界史上の出来事となったのです。

(つづく)

### 神学生道東研修報告 現場のエキキュメニカル

森田哲史  
(日本ルーテル神学校2年)

3月3日から9日の1週間、神学生の3人(多田・野口・森田)は、帯広教会の三つの礼拝堂を巡る道東研修を行いました。初日、帯広礼拝堂に向かうと、前日に降った雪が駐車場に積もっており、早速除雪作業を行いました。北海道の雪は、本州のそれと比べて軽いと言われていますが、慣れない除雪作業、春の湿気を含んだ雪に3人とも四苦八苦でした。研修中は様々な教派の

キリスト教会を訪問しましたが、その中で日本メソナイト足寄キリスト教会を訪ねました。足寄町は香川県ほどの面積にキリスト教会がメソナイト教会しかなく、様々な教派の信徒が集まり、礼拝を守っています。教職不在の中で、信徒同士がそれぞれの出身教派の礼拝を取り入れながら、礼拝を守っているとのことでした。もし自分がこのような教会にルーテル教会の牧師として派遣されたら、どのように教会形成をしていくことが出来るのかを想像しました。地域の唯一のキリスト教会として、集められた方々に対して、どこまで柔軟に対応出来るのか、また

出来ないのか。神学校で学ぶ理論以上の判断が求められているように思いました。また期間中、世界祈祷日の礼拝があり、そこでも他教派との関わりを強く意識させられました。世界祈祷日の礼拝は都市部では多くの場合、NCC(日本キリスト教協議会)の加盟教派を中心に守られることが多いと思います。しかし、帯広では日本メソナイト帯広教会で、メソナイト教会の牧師によって執り行われました。さらにNCC加盟教派以外にも、いわゆる福音派と呼ばれる教派も数多く参加しているのが印象的でした。

キリスト教会を訪問しましたが、その中で日本メソナイト足寄キリスト教会を訪ねました。足寄町は香川県ほどの面積にキリスト教会がメソナイト教会しかなく、様々な教派の信徒が集まり、礼拝を守っています。教職不在の中で、信徒同士がそれぞれの出身教派の礼拝を取り入れながら、礼拝を守っているとのことでした。もし自分がこのような教会にルーテル教会の牧師として派遣されたら、どのように教会形成をしていくことが出来るのかを想像しました。地域の唯一のキリスト教会として、集められた方々に対して、どこまで柔軟に対応出来るのか、また

出来ないのか。神学校で学ぶ理論以上の判断が求められているように思いました。また期間中、世界祈祷日の礼拝があり、そこでも他教派との関わりを強く意識させられました。世界祈祷日の礼拝は都市部では多くの場合、NCC(日本キリスト教協議会)の加盟教派を中心に守られることが多いと思います。しかし、帯広では日本メソナイト帯広教会で、メソナイト教会の牧師によって執り行われました。さらにNCC加盟教派以外にも、いわゆる福音派と呼ばれる教派も数多く参加しているのが印象的でした。

会・ルーテルでの合同礼拝に参加させていただき、ありがとうございました。そこからは綿密に議論されたエキキュメニカルの成果が見受けられました。しかし、帯広で見たエキキュメニカルは、お互いの伝統を超えて、同じキリスト者として臨機応変に支え合う姿でした。最後にになりましたが、神学生を受け入れてくださった帯広教会の皆様感謝を申し上げます。



### 新任宣教師 ミルヤム・ハルユさんの紹介



昨年9月、フィンランドの宣教師団 SLEY の宣教師として日本に派遣されたミルヤム・ハルユです。現在、2年間に渡る日本語研修を受けています。

私の実家は、国教会の中で SLEY 派が伝統的に強い地域にあり、私の信仰もその伝統に培われたと思います。宣教師養成学校の修了後に、派遣先が日本と決まりました。神様の導きと信じ、決定を受諾しました。将来の働きについて神様のみ旨が示されることを祈りつつ、今は日本語の習得に努めています。

作業に入ったが、時間の制約もあり、結論を十分に集約しきれない面もあった。しかし、各人がそれぞれにディアコニアへの思いを新たにすることは確かだ。この社会を見廻すと、様々な痛みが溢れている。災害や病いによるもの、あるいは人為的なもの。その中で、私たちはどこまでこれらの痛みと共にできるかを考えれば、それは至難のことである。しかし、イエス様のご生涯を想い、み言葉に耳を傾けることから再び出発しなければならぬ。

### ディアコニア・セミナーに参加して

鳥飼勝隆  
(名古屋めぐみ教会)

2月11日に、第14回ディアコニア・環境・人権・平和セミナーが、名古屋めぐみ教会で開催された。東海地区を中心として、遠くは熊本、広島、千葉などから、総勢45名が、何を学ぼうかとの期待を胸に参加した。開会礼拝(谷川卓三牧師、三原教会)に始まり、次いで、参加者への活性化剤として、二つの講演が

続いた。そのひとつは、浦野聖さん(名古屋めぐみ教会員)による「コーヒー一杯からの身近な国際協力」。気軽に楽しむ一杯のコーヒーの中に、生産流通過程の不正さや、環境へのしわ寄せなどが潜んでいることが指摘された。その是正に働くフェアトレードネットワーク(フェアトレードラベルジャパン <http://www.fairtrade.jp>)が紹介され、参加者の関心を集めた。

セミナー後半は、全責参加方式で、太田立勇さん(復活教会員)の指導で、小グループに分かれ、各人が「自分とディアコニアとの関わりや、今、何が自分のできるか」などを紹介し合った。さらに、それらを地球環境、貧困、人権等々の分野に分類し、集約する

作業に入ったが、時間の制約もあり、結論を十分に集約しきれない面もあった。しかし、各人がそれぞれにディアコニアへの思いを新たにすることは確かだ。この社会を見廻すと、様々な痛みが溢れている。災害や病いによるもの、あるいは人為的なもの。その中で、私たちはどこまでこれらの痛みと共にできるかを考えれば、それは至難のことである。しかし、イエス様のご生涯を想い、み言葉に耳を傾けることから再び出発しなければならぬ。



セミナー後半 ワークショップ「ディアコニアってなあに?」: 熱心に取り組む参加者

世界宣教委委員長 大柴讓治

ブラジル宣教50年  
記念訪伯団募集

1965-2015  
50 anos  
com missão do JELC no Brasil  
Comunidade Evangélica Luterana - Congregação Japonesa de São Paulo

今年、宣教師として最初にブラジルに派遣された藤井浩牧師が1965年10月31日にサンパウロで宣教を開始して50年目の節目を迎えます。私たち日本福音ルーテル教団(JELC)にとっては世界宣教50周年の年でもあります。そして、この記念すべき年の4月からサンパウロ教会では経済自給も達成されます。これまで私たちはブラジルに8人の牧師を派遣してきました。

藤井浩 (1964-71)  
塩原久 (1972-76)  
土井洋 (1976-83)  
竹田孝一 (1983-88)  
塩原久 (1988-95)  
紙谷守 (1995-2000)  
渡邊進 (2002-09)  
徳弘浩隆 (2009-16)

10月11日に行われる記念聖餐礼拝に参加するために、JELCは訪伯団を派遣します。

期間は10月9日から22日までの13日間で、費用は43万円。訪問先はサンパウロ、リオデジャネイロ、ポルトアレグレ、イヴォチ、イタチという関わりが深い場所です。募集人員は25名で、団長は大柴が務めます。

なお、追加オプションとしてイグアスの滝まで足を伸ばされる方は帰国が23日となり、費用は8万円増となります。

申込先はJELC事務局 (Fax:03-3260-8641)。申込締切は8月25日です。

旅行についての詳細は募集要項をご覧ください、ツニプラトラベル 担当: 佐藤さん

電話 03-3272-2865  
Fax:03-3271-5319  
sato@tunibraco.jp

までお問い合わせください。

ブラジルの教会員と共に、神さまの救いの御業に感謝し、宣教50年の歴史を心に刻みつつ、一緒に50年を喜び祝い、日伯それぞれの地での世界宣教へのさらなる出発の節目としましょう。ふるってご参加ください。